

物流センター照明をLED化

スチール収納メーカーの **アルプススチール**



LED照明約120個を新規導入し、全て水銀灯から切り替えた同社物流センター

省エネと作業環境改善

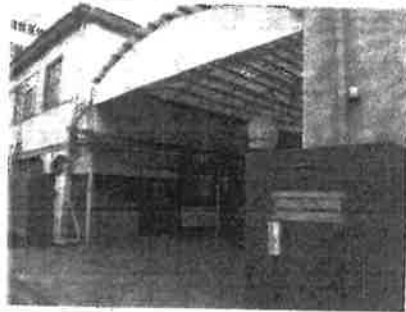
本社工場も順次切り替え

スチール収納メーカーのアルプススチール（本社名古屋市中川区月島町、利川烈社長、電話052・351・7115）は、中川区内に所有する物流センター内の照明を、水銀灯からLED（発光ダイオード）に全面的に切り替えた。消費電力を約3割削減する。今後、本社工場の照明も順次切り替えを進め、省エネによる環境負荷低減とコスト削減を目指す。（竹田ゆりこ）

物流センターは敷地面積約1万2700平方メートル。このほどLED照明約120個を新規導入し、全て水銀灯から切り替えた。

長谷川茂専務は「従来よりも明るくなり、作業もしやすくなった」と話す。従業員約160人のうち、工場と物流センターで勤務している現場作業者が約8割に上る。職場の環境改善を行うことで、生産性向上にもつなげたい考えだ。

向こう1〜2年の間に、敷地面積約1万3900平方メートルを誇る本社工場でも、LED照明を導入する方針。同社はこのほかに工場



本社工場もLED照明を導入する

緑化なども実施しており、「環境に配慮したものづくり」への取り組みを進める。同社は1938年創業。従業員数は168人。一貫生産体制と技術力を強みに、箱物板金加工製品を展開している。

国内シェアはスチール収納家具で約10%、スポーツジム向けロッカーで約60%。最近では、室内だけでなく屋外に設置できる製品の開発にも力を入れている。

平成30年2月10日（土）
中部経済新聞に掲載されました。